

令和2年度第3回岡崎市景観審議会議事録

1 会議の日時 令和3年3月22日(月) 午前10時00分～午前11時15分

2 会議の場所 岡崎市役所東庁舎 2階大会議室

3 会議の議題

- (1) 報告第7号 殿橋から岡崎城天守を望む眺望保全について
- (2) 報告第8号 無電柱化の施策について

4 会議に出席した委員(14名)

学識経験者	島津 達雄
学識経験者	水津 功
学識経験者	杉野 丞
学識経験者	瀬口 哲夫
学識経験者	中根 克弘
学識経験者	長谷川 明子
学識経験者	森 真弓
各種団体	天野 裕
各種団体	横山 正登
各種団体	後藤 仁
各種団体	河内 利弘
各種団体	柴田 芳孝
公募市民	稲垣 理恵子
公募市民	小早川 隆恵

5 事務局

都市整備部まちづくりデザイン課	課長	市川 正史
都市整備部まちづくりデザイン課	副課長	木下 政樹
都市整備部まちづくりデザイン課	景観推進係係長	成瀬 晋
都市整備部まちづくりデザイン課	景観推進係技師	酒井 迅
都市整備部まちづくりデザイン課	景観推進係主事	神尾 実沙
都市整備部まちづくりデザイン課	歴史まちづくり係係長	井尻 智久

6 会議の公開の可否について

本日の会議について、事務局から岡崎市景観審議会運営規程並びに岡崎市情報公開条例における会議の公開及び非公開に関する諸規定の説明を行うとともに、諮問第7号を非公

開、報告第 8 号を公開すべき旨の提案をしたところ、全会一致で承認された。

7 議事録署名者の指名

瀬口会長が議長として長谷川委員及び河内委員を議事録署名者に指名した。

8 景観審議会委員の改選

河内委員について、事務局から、「公益社団法人 愛知県建築士事務所協会」の景観整備機構の指定取消及び「一般社団法人 まちづくりマイスター」の景観整備機構の指定に伴い、委員改選が行われたと報告がなされた。

9 報告第 7 号 殿橋から岡崎城天守を望む眺望保全について（非公開）

10 報告第 8 号 無電柱化の施策について

議長が報告第 8 号に関する説明を求め、提出した資料に基づき事務局（まちづくりデザイン課）による説明が行われた。そして次の趣旨の質疑がなされた。

横山委員

ガスや水道は 100%地中化しているのに、なぜ電線だけ遅いのか疑問に思っていた。無電柱化をどんどん進めてほしい。また、景観を損なっている横断歩道橋の廃止についても検討していただきたい。

説明資料 15 ページ 「歩行者利便増進道路」という言い回しは市民に伝わりにくいので、「歩行者優先道路」と言い切った方がよい。

事務局

国が「歩行者利便増進道路」としているため、言葉を変更するのは難しい。

瀬口会長

意味としては、「歩行者優先道路」ということでよいか。

事務局

そのとおり。

島津委員

説明資料 15 ページ 「レジリエンス強化」とはどういう意味か。日本語でわかりやすく書いてほしい。

事務局

レジリエンスは強靱性を指す。レジリエンス強化とは、迅速に復旧修繕ができることを示す。

瀬口会長

岡崎市の無電柱化について、現状を数値で表すとよい。緊急輸送道路は何kmあり、そのうち無電柱化済みは何%かなど。将来の無電柱化率は何%かなどの理解ができるので。

また、なぜ無電柱化が進まないのか、一度しっかりと考えてみてもよいのでは。

長谷川委員

無電柱化計画に道路舗装への景観・環境配慮も位置付けてほしい。例えば、資料に載っているような裏道では、道路区域に土や草があり、歩くと気持ちのいい道路にするなど、いろいろな手法を検討してほしい。

横山委員

既存の電柱を抜柱したら、そこに木を植えることにしたらよいのでは。

長谷川委員

とてもいい考え方だと思う。

瀬口会長

現実には、電柱を取ったら街路樹も伐採していく方向にある。歩行者優先と街路樹はバッティングするところがある。岡崎商工会議所前の通りのケヤキ並木は、歩行者道路整備で伐採された。今後、岡崎ではこれらの関係をどのように整理していくのか、検討を続けてほしい。

議長が報告第8号に関する質疑の終結を宣言し、報告が終了した。

11 その他連絡事項について

事務局

次回、岡崎市景観審議会は来年度5月頃に開催予定。

議長が全ての議事日程の終了を告げ、令和2年度第3回岡崎市景観審議会を閉会した。